

R4年度 伊香高等学校 学校評価（アンケート結果）の分析

本年度から「魅力ある高校づくり」地域連携の実践モデル校として指定を受けて魅力化に取り組んできたが、まだ生徒や保護者を巻き込んだ取り組みにはなっていないことがアンケート結果からわかる。広報のあり方を工夫し、生徒や保護者・地域の要望に耳を傾けて、皆が参画できるような学校経営を進める。

学習指導においては、基礎基本が定着するよう丁寧な学習指導を行っていることに高評価をいただいていることが、生徒、保護者のアンケートからうかがえる。

BYODによる一人一台端末を効果的に活用し、それぞれの学力に応じた個別最適な学習を進めたい。また生徒の学習意欲の高まりや学力向上については、生徒・保護者・教員ともに評価が低かった。学びへの興味・関心が高まるよう、各コースの学習で教科横断的な探究活動を取り入れ、授業改善に努めたい。

生徒指導については、全教員の共通理解のもとで服装やマナーの指導を行っているが生徒・保護者の評価は教員の自己評価と比較すると低くなっている。またいじめの早期発見、対応についても、教員の自己評価と比較すると低い結果となっている。

従来からの生徒指導あり方そのものを再検討し、「生徒・保護者とともに考える生徒指導」に取り組んでいけるように、教員自身が視点を換え、研鑽を積む必要がある。

学校行事（体育祭、文化祭等）への満足度は、生徒も保護者も高い結果であった。コロナ禍で制限のある中ではあったが、生徒は充実感を持って活動することができた。

学校図書館に関するアンケートの結果は、生徒も保護者も低かった。朝の読書指導の期間だけでなく、読書習慣が身につくように継続的に生徒の読書意欲の喚起に努めていきたい。

来年度以降も「魅力ある高校づくり」を進め、地域連携の中で新しい学びを創造していけるよう、学校全体で取り組んでいく。ホームページやSNSを活用して学校の情報発信に努めてイメージアップを図り、地域とともに歩んでいけるよう、取り組みを推進する。